

(案)

令和3年12月24日

茨木市長 福岡 洋一 様

茨木市病院誘致あり方検討委員会
委員長 肥塚 浩

茨木市誘致病院に係る基本整備構想（案）について（意見）

本委員会では、茨木市誘致病院に係る基本整備構想（案）について、各委員の専門的な見地のもと、慎重かつ活発な議論を重ねてまいりました。

4回にわたる委員会により、十分な審議が行われたものと認められることから、今般、茨木市病院誘致あり方検討委員会規則第2条に基づく意見書としてとりまとめることとしました。

本意見は、委員の総意であり、市におかれましては、十分検討・精査され、市民が必要とする安心かつ安全な医療を、将来にわたって安定して継続的に提供する体制を整備し、市内の医療提供体制の充実が図られることを期待します。

記

1 基本整備構想（案）の妥当性について

基本整備構想（案）は、国の医療政策や、本市及び周辺圏域の医療環境の動向を踏まえた内容となっており、概ね妥当であると判断できる。

なお、今後の病院誘致検討事業の進行においては、下記の「2 意見」を踏まえ、慎重かつ積極的な対応を期待する。

2 意見

今後、基本整備構想（案）に基づいて、誘致病院の選定基準などについて具体的に検討されることとなるが、検討に際し考慮すべき事項として、以下のとおり意見を申し添える。

- ・地域医療支援病院として、病診・病病連携だけでなく、医科歯科連携、薬薬連携、医療・介護福祉連携に対応した地域連携機能の充実を求めたい。また、地域住民の啓発活動等にも積極的に取り組んでいただきたい。

- ・求められる医療を継続できるように、医師不足・看護師不足が生じないように取り組んでいただきたい。
- ・小児医療について、診療科として継続できるように、ニーズと現実の医療提供体制のバランスを考慮することが必要である。また、小児医療は採算を維持することが簡単ではなく、公的な補助等も検討されたい。
- ・新興・再興感染症については、中等症患者の入院までは対応できる病院、または対応できるような機能を有し、感染症対応を考慮した施設整備を検討されたい。
- ・災害医療については、災害医療協力病院として、入院医療が必要な患者を積極的に受け入れ、災害拠点病院までの繋ぎや転院、圏域外搬送も担える機能を有するよう検討されたい。
- ・病院誘致候補地は、市のハザードマップ上で浸水想定区域内にあることを十分に配慮しつつも、特定のリスクに偏ることなく、地震等の他の災害リスクにも配慮し、バランスのとれた施設計画を検討されたい。
- ・病院誘致候補地は、現在、市営駐車場・駐輪場として利用されているため、代替駐輪場の確保をするなど検討されたい。また、周辺の道路網に脆弱さがあるため、道路交通の支障をきたさないよう整備を検討されたい。
- ・周辺の医療環境や地域の高齢者、子育て世代の暮らし方に対する影響も総合的に考えていく必要がある。病院誘致検討事業と都市計画マスタープランや立地適正化計画との整合を図り、関連部署と連携して市としての将来像を幅広く検討されたい。
- ・病院が誘致された後にどのような役割や機能が果たされているか、誘致による影響の評価を行う方法を検討されたい。